

Portal Manager Lite

(2-Column Core)

v0.13.7

操作マニュアル

～ 初心者向け ～

テーマに依存しない 本文＋サイドバナーの2カラムレイアウトを実現する
WordPress プラグイン

目次

※ Word 上で目次を更新するには、この目次を右クリック→「フィールドの更新」を選んでください。

第1章 このプラグインでできること

1-1. Portal Manager Lite とは?

Portal Manager Lite は、WordPress のテーマに依存しない「本文+サイドバナー」の2カラムレイアウトを実現するプラグインです。どのテーマを使っているか、統一された見た目で投稿の一覧ページ（アーカイブ）やサイドバーを表示できます。

通常、WordPress ではテーマを変えるとレイアウトが大きく変わりますが、このプラグインはテーマのテンプレートを使わず、独自のHTML/CSSで画面を組み立てます。そのため、テーマを変更しても一覧ページやサイドバーの見た目が崩れません。

1-2. 主な機能一覧

機能	概要
投稿タイプ管理	「施工例」「NEWS」など独自の投稿タイプを管理画面から追加・管理できます
2カラムレイアウト	本文+サイドバナーの2カラム表示をテーマに依存せず実現します
アーカイブデザイン	一覧ページの見た目を「カード」「メディア」「1行テキスト」などから選べます
サイドバー設定	最近の投稿・カテゴリー・アーカイブの3ウィジェットを投稿タイプごとに設定できます
カスタムフィールド	テキスト・画像・プルダウンなど8種類のフィールドを投稿タイプごとに定義できます
検索機能	カテゴリーやカスタムフィールドで絞り込む検索フォームをショートコードで設置できます
テーマ別調整 CSS	新しいテーマで崩れた場合、管理画面から CSS を追加して即修正できます

1-3. 管理画面のメニュー構成

プラグインを有効化すると、WordPress 管理画面の左メニューに「Portal Manager Lite」が追加されます。この中に以下の4つのサブメニューが入っています。

メニュー名	何を設定するか
表示設定（投稿タイプ別）	アーカイブの見た目、サイドバーの内容、カスタムフィールドの定義
検索設定	投稿タイプごとの検索フォームの設定とショートコードの発行
投稿タイプ管理	独自の投稿タイプの追加・編集・削除
サイト全体の設定	テーマの検出状態の確認、テーマ別調整 CSS の追加

第2章 インストールと初期設定

2-1. プラグインのインストール

Step 1 WordPress 管理画面で「プラグイン」→「新規追加」→「プラグインのアップロード」を開きます。

Step 2 portal-manager-lite-v0_13_7.zip ファイルを選択し、「今すぐインストール」をクリックします。

Step 3 インストール完了後、「プラグインを有効化」をクリックします。

自動処理について

プラグインの有効化時、パーマリンク（URL 構造）の再構築が自動的に行われます。手動で「設定 → パーマリンク」を開き直す必要はありません。

2-2. テーマ側の事前準備（重要）

このプラグインを使う前に、テーマ側で「サイドバーなし・1 カラム」の設定にしておく必要があります。プラグインは、テーマが用意した全幅のエリアの中に、独自の 2 カラムレイアウトを描画する仕組みです。

必ず設定してください

テーマ純正のサイドバーが有効なままだと、プラグインのサイドバナーとテーマのサイドバーが二重に表示されてしまいます。テーマ側で「サイドバーなし」にしてからプラグインを使い始めてください。

テーマごとの設定場所の例：

テーマ名	設定場所
Cocoon	投稿編集画面 → ページ設定 → ページタイプ → 1 カラム
Lightning	投稿編集画面 → Lightning デザイン設定 → レイアウト → 1 カラム
SWELL	外観 → カスタマイズ → サイドバー → 表示チェックを外す
Emanon	外観 → カスタマイズ → サイドバー設定 → ページ種別ごとに設定
Blogsy	外観 → カスタマイズ → サイドバー → サイドバーの位置：なし

SWELL をお使いの場合

サイドバーを非表示にただけでは本文幅が自動的に広がりません。「基本デザイン → コンテンツ幅の設定 → 1 カラム時の記事コンテンツ幅」も広げてください。

第3章 投稿タイプ管理

📌 メニューの場所: 管理画面 → Portal Manager Lite → 投稿タイプ管理

3-1. 投稿タイプとは?

WordPress には標準で「投稿」と「固定ページ」がありますが、サイトの種類によっては「施工例」「お知らせ」「商品紹介」など、独自のコンテンツ種類が必要になります。これらを「カスタム投稿タイプ」と呼びます。

このプラグインでは、管理画面から投稿タイプ名とスラッグ（URL に使う英数字）を入力するだけで、カスタム投稿タイプを簡単に追加できます。

3-2. 投稿タイプを追加する

- Step 1** 「投稿タイプ管理」画面を開きます。
- Step 2** 「投稿タイプ名」に表示名（例：施工例）を入力します。
- Step 3** 「スラッグ」に URL で使う英数字（例：works）を入力します。
- Step 4** 行を追加したい場合は「+行を追加」ボタンをクリックします。
- Step 5** 「保存」ボタンをクリックします。

保存が完了すると、管理画面の左メニューに新しい投稿タイプが自動的に追加されます。パーマリンクの再構築も自動で行われるため、手動での操作は不要です。

入力例	投稿タイプ名	スラッグ	アーカイブ URL
例 1	施工例	works	https://example.com/works/
例 2	NEWS	news	https://example.com/news/
例 3	商品紹介	products	https://example.com/products/

⚠️ スラッグの注意点

スラッグは半角英数字とハイフンのみ使用できます。一度保存して投稿を作成した後にスラッグを変更すると、既存の投稿の URL が変わってしまうためご注意ください。

💡 自動で作られるもの

投稿タイプを追加すると、専用のカテゴリー（例：「施工例のカテゴリー」）が自動的に作成されます。管理画面のメニューにカテゴリー管理の項目も追加されるので、「新築」「リフォーム」などの分類を自由に登録できます。

3-3. 投稿タイプを削除する

不要な投稿タイプの行の「削除」ボタンをクリックし、「保存」を押すと削除されます。

⚠ 注意

その投稿タイプで作成した投稿データは、WordPress のデータベースに残りますが、管理画面からは見えなくなります。

第4章 表示設定（投稿タイプ別）

📍 メニューの場所: 管理画面 → Portal Manager Lite → 表示設定（投稿タイプ別）

この画面では、投稿タイプごとにアーカイブ（一覧ページ）の見た目、サイドバーの内容、カスタムフィールドの定義をまとめて設定します。投稿タイプが複数ある場合は、画面上部のタブで切り替えて設定します。

💡 早見表について

画面上部には「設定の早見表」が表示されます。全投稿タイプのレイアウト・カラム数・1 ページの件数を一覧で確認でき、各項目の「編集」リンクから該当箇所に直接ジャンプできます。

4-1. アーカイブの見た目

「【アーカイブ】一覧ページの見た目」セクションで、一覧ページ（カテゴリーページ、投稿タイプのアーカイブページなど）のデザインを設定します。

アーカイブページのデザイン（4 種類）

デザイン	見た目の特徴	適した用途
カード	画像＋タイトル＋抜粋を枠線付きのカードで表示	施工例・ブログなど画像が重要なコンテンツ
カード（枠線なし）	カードと同じ構成で枠線なし	すっきりした見た目にしたい場合
メディア	左に画像・右にテキストの横並びレイアウト	ニュース・お知らせなど
1 行テキスト	日付＋カテゴリー＋タイトルの 1 行表示	お知らせ・更新履歴など文字中心のコンテンツ

カラム数

PC 表示時の列数を 1～6 で指定できます。画面幅が狭い場合は自動的に 1 列に切り替わります（ビューポート基準ではなく、実際の表示エリアの幅に基づくコンテナクエリで判定）。「1 行テキスト」表示の場合、カラム数の設定は無視されます。

表示件数（1 ページあたり）

一覧ページに表示する投稿数を設定します。空欄のままにすると、WordPress の「設定 → 表示設定 → 1 ページに表示する最大投稿数」の値がそのまま使われます。特定の投稿タイプだけ件数を変えたい場合のみ入力してください。

表示要素

画像・日付・抜粋・カテゴリのうち、どの要素をカードに表示するかをチェックボックスで選べます。「1 行テキスト」表示では画像・抜粋は表示されず、日付・カテゴリのみチェックに従います。抜粋の文字数も設定できます。

4-2. サイドバーの設定

「【サイドバー】最近の投稿・カテゴリ・アーカイブ」セクションで、2 カラムの右側（サイドバー）に表示するウィジェットを設定します。サイドバーには以下の 3 種類のウィジェットがあり、それぞれ表示・非表示を切り替えられます。

最近の投稿

設定項目	説明
表示/非表示	チェックを外すとウィジェットごと非表示になります
表示スタイル	1 行テキスト / カード / カード（枠線なし） / メディアから選択
表示する情報	サムネイル＋タイトル＋日付 / 日付＋カテゴリ＋タイトル / サムネイル＋タイトル＋日付＋カテゴリから選択
表示件数	1～20 件で指定
表示ラベル	見出し文字を変更（空欄なら「最近の○○」が自動表示）
「もっと見る」リンク	URL・表示テキストを指定するとウィジェットの下にリンクが表示されます

カテゴリ

投稿タイプに紐づくカテゴリの一覧を表示します。表示ラベル（見出し）をカスタマイズできます。空欄の場合はタクソノミー名（例：「施工例のカテゴリ」）が自動表示されます。

月別・年別アーカイブ

月別または年別のアーカイブリンクを表示します。リスト形式とプルダウン形式の 2 種類から選べます。表示ラベルもカスタマイズ可能です。

投稿タイプごとに自動連動

サイドバーの内容は、閲覧中のページの投稿タイプに自動的に連動します。施工例ページでは施工例の最近の投稿・カテゴリが表示され、NEWS ページでは NEWS の情報が表示されます。

第5章 カスタムフィールド

📌 メニューの場所: 管理画面 → Portal Manager Lite → 表示設定 → 各タブの「【カスタムフィールド】」セクション

5-1. カスタムフィールドとは?

カスタムフィールドは、投稿に追加の情報を持たせる機能です。たとえば施工例であれば「施工面積」「工期」「施工場所」、商品紹介であれば「価格」「サイズ」「カラー」など、タイトルと本文だけでは足りない情報を構造化して管理できます。

5-2. フィールドの種類

種類	説明	使用例
テキスト	1行のテキスト入力	施工面積、価格、電話番号
複数行テキスト	改行を含む長い文章の入力	備考、説明文、アクセス方法
URL	リンク先のURLを入力	関連サイト、地図リンク
画像	メディアライブラリから画像を選択	施工前写真、商品画像
ファイル	メディアライブラリからファイルを選択	PDF カタログ、資料
プルダウン	選択肢から1つ選ぶ	エリア、ランク、状態
チェックボックス	選択肢から複数選ぶ	対応可能な工法、付属品
ラジオボタン	選択肢から1つ選ぶ（一覧表示）	はい/いいえ、公開/非公開

5-3. フィールドを定義する

Step 1 「表示設定」画面で対象の投稿タイプのタブを開きます。

Step 2 「【カスタムフィールド】」セクションまでスクロールします。

Step 3 「+ フィールド追加」ボタンをクリックして行を追加します。

Step 4 各フィールドの「ラベル」（表示名）と「種類」を設定します。

Step 5 プルダウン・チェックボックス・ラジオボタンの場合は「選択肢」欄に1行1項目で入力します。

Step 6 画像フィールドの場合は「解像度」を選択できます（サムネイル～フルサイズ）。

Step 7 「保存」ボタンで保存します。

フィールドの並び替え

フィールドの表示順序は、ドラッグ&ドロップ（:::ハンドルを掴んで移動）または ↑ ↓ ボタンで変更できます。

表示エリア設定

カスタムフィールドを詳細ページ（個別記事ページ）のどこに表示するかを選びます。

選択肢	動作
表示しない	カスタムフィールドの値は投稿編集画面でのみ入力・管理し、サイト上には表示しません
本文の前に表示	記事本文の上にカスタムフィールドの一覧を表示します
本文の後に表示	記事本文の下にカスタムフィールドの一覧を表示します

「カードに表示」スイッチ

各フィールドに「カードに表示」チェックボックスがあります。これを ON にすると、アーカイブ一覧の各カード内にもそのフィールドの値が表示されます（「カード」デザインの場合のみ有効）。投稿タイプ単位でまとめて非表示にする「一括非表示スイッチ」も用意されています。

第 6 章 検索機能

📌 メニューの場所: 管理画面 → Portal Manager Lite → 検索設定

6-1. 検索機能の概要

投稿タイプごとに、カテゴリーやカスタムフィールドの値で絞り込める検索フォーム＋結果一覧を、ショートコードとして発行できます。発行したショートコードを固定ページや投稿に貼り付けるだけで、検索付きの一覧ページが完成します。

6-2. 検索設定の手順

Step 1 「検索設定」画面を開き、対象の投稿タイプのタブを開きます。

Step 2 「検索機能を有効にする」にチェックを入れます。

Step 3 検索条件として使いたい項目を設定します。

設定項目	説明
キーワード検索	フリーワードでタイトル・本文を検索する入力欄を表示
カテゴリー検索	カテゴリーで絞り込むプルダウンを表示
カスタムフィールド検索	「表示設定」で定義したフィールドの中から、検索条件に使うものを選択（画像・ファイル種類は対象外）

Step 4 初期表示件数（検索前に表示する件数）と表示件数（1 ページあたり）を設定します。

Step 5 必要に応じて「検索結果一覧のカラム数」を指定します（空欄なら表示設定のカラム数に従います）。

Step 6 「1 カラム表示にする」にチェックを入れると、ショートコードを貼ったページでサイドバナーを非表示にできます。

Step 7 「保存」ボタンで保存します。

6-3. ショートコードの使い方

検索機能を有効にすると、画面にショートコードが表示されます。

表示されるショートコードの例: `[pm_lite_search post_type="works"]`

Step 1 表示されたショートコードをコピーします。

Step 2 検索ページにしたい固定ページを新規作成（または既存ページを編集）します。

Step 3 ショートコードブロック（またはテキストとして直接）貼り付けます。

Step 4 ページを公開します。

ページを表示すると、検索フォームと投稿の一覧が表示されます。検索操作は Ajax (Fetch API) で行われるため、ページ全体の再読み込みなしに結果が切り替わります。件数が表示件数を超えた場合は、一覧の下にページ番号 (ページネーション) が表示されます。

早見表について

検索設定画面にも、表示設定と同様の「設定の早見表」があります。全投稿タイプの検索機能の ON/OFF、カラム数、1 ページの件数、1 カラム表示を一覧で確認でき、各項目の「編集」リンクから直接ジャンプできます。

第7章 サイト全体の設定

📌 メニューの場所: 管理画面 → Portal Manager Lite → サイト全体の設定

7-1. テーマの自動検知

プラグインは WordPress の `get_template()` 関数を使って、現在有効なテーマを自動的に検知します。画面上部に「現在のテーマ」として表示され、検証済みのテーマであれば専用の調整 CSS が自動的に適用されます。

検証済みテーマ一覧

テーマ名	状態
Cocoon	検証済み（専用 CSS 適用）
Lightning	検証済み（専用 CSS 適用）
Blogsy	検証済み（専用 CSS 適用）
SWELL	検証済み（専用 CSS 適用）
Emanon	検証済み（専用 CSS 適用）
UniBiz	検証済み（専用 CSS 適用）
Twenty Seventeen	検証済み（専用 CSS 適用）
その他のテーマ	汎用対応 CSS（generic）が適用されます

7-2. テーマ別調整 CSS

未検証のテーマで表示が崩れた場合、プラグイン本体の更新を待たずに、この画面から CSS を追加するだけで即座に修正できます。

Step 1 「追加 CSS」のテキストエリアに、修正用の CSS を記入します。

Step 2 「このテーマ用の CSS を保存」ボタンで保存します。

保存した CSS は自動的に `@layer pm-protect { ... }` で囲まれて出力されます。セレクトタと宣言だけ書けば OK です。

記入例: `.pm-layout { flex-wrap: wrap; }`

💡 安全設計

ここから追加した CSS では、プラグインの核心部分（カード写真枠の縦横比など）を上書きすることはできません。これはレイヤーの優先順位による意図的な制約で、事故防止のための仕組みです。

7-3. テーマ名の手動指定

通常は空欄のままで OK です。テーマの自動検知結果が実際のテーマ名と食い違う場合にのみ、ここにテーマのスラッグを入力してください。

テーマを「外観 → テーマ」で切り替えた際、手動指定は自動的にクリアされ、新しいテーマの自動検知に戻ります。

第 8 章 投稿の作成・編集

8-1. 新規投稿の作成

投稿タイプ管理で追加した投稿タイプは、管理画面の左メニューに表示されます。

- Step 1** 管理画面の左メニューから投稿タイプ名（例：「施工例」）をクリックします。
- Step 2** 「新規追加」をクリックします。
- Step 3** タイトル・本文を入力します。
- Step 4** 右側の「アイキャッチ画像」パネルで画像を設定します。
- Step 5** カテゴリーを選択します（投稿タイプ専用のカテゴリーが自動作成されています）。
- Step 6** カスタムフィールドが定義されている場合、本文の下に入力欄が表示されます。
- Step 7** 「公開」をクリックして投稿を公開します。

アイキャッチ画像の推奨サイズ

アーカイブカード用に 600×450px 以上の画像を使用することをお勧めします。元画像がこのサイズ未満の場合、管理画面の投稿一覧に「△ 解像度不足」のバッジが表示されます。

8-2. カスタムフィールドの入力

カスタムフィールドを定義している投稿タイプでは、投稿編集画面の本文エディタの下にフィールドの入力欄が表示されます。

フィールドの種類	入力方法
テキスト / URL	1 行のテキストを直接入力します
複数行テキスト	テキストエリアに入力。Enter で段落、Shift+Enter で行内改行になります
画像 / ファイル	「メディアを選択」ボタンでメディアライブラリを開き、ファイルを選択します
プルダウン / ラジオボタン	表示された選択肢から 1 つを選びます
チェックボックス	表示された選択肢から複数を選べます

8-3. 投稿一覧画面の確認

管理画面の投稿一覧には、以下の列が自動追加されます。

列名	内容
アイキャッチ画像	設定されたアイキャッチ画像のサムネイルを表示。解像度が不足している場合は「△ 解像度不足」バッジが付きます
最終更新日	投稿の最終更新日時を表示します

第9章 フロント（サイト表示）の仕組み

9-1. 2カラムレイアウト

個別の投稿ページ（記事詳細）を表示すると、テーマが出力する本文エリアの中に、プラグインが「本文＋サイドバナー」の2カラムを自動的に描画します。画面幅が狭い場合は自動的に1カラム（縦積み）に切り替わります。

HTML 構造は以下のようになっています：

.pm-container → **.pm-layout** → **.pm-main**（本文） + **.pm-side**（サイドバナー）

9-2. アーカイブ（一覧）ページ

カテゴリーページ、タグページ、投稿タイプのアーカイブページでは、テーマのテンプレートが出力する記事一覧を破棄し、「表示設定」で設定したデザイン（カード・メディア・1行テキスト）でプラグインが一覧を再描画します。

これにより、どのテーマでも統一されたカードデザインで記事一覧が表示されます。

9-3. ブロックテーマへの対応

Twenty Twenty-Five などのブロックテーマにも対応しています。ブロックテーマでは `loop_start` / `loop_end` の仕組みが使えないため、`render_block` フィルターで「投稿一覧」ブロック（`core/query`）の出力を丸ごと差し替える方式で動作します。テーマ名やテーマ固有のクラス名には一切依存しない設計です。

第 10 章 よくある質問とトラブルシューティング

Q1. 新しい投稿タイプのページが 404 になります

投稿タイプを追加した後、通常はパーマリンクの再構築が自動で行われますが、うまくいかない場合は「設定 → パーマリンク」を開いて、何も変えずに「変更を保存」をクリックしてください。

Q2. 一覧の画像がぼやけて見えます

原因は元画像の解像度不足です。アーカイブカード用に 600×450px 以上の画像を使用してください。管理画面の投稿一覧で「△ 解像度不足」と表示されている投稿が対象です。元画像を高解像度のものに差し替えると自動的に改善されます。

Q3. テーマを変えたらレイアウトが崩れました

まず、テーマ側の設定で「サイドバーなし・1 カラム」になっていることを確認してください。

それでも崩れる場合は「サイト全体の設定 → テーマ別調整 CSS」に修正 CSS を追加してください。検証済みテーマ以外では汎用 CSS が適用されますが、テーマの独自 CSS との競合が発生する場合があります。

Q4. プラグインを更新したら無効化されました

WordPress は、プラグインの更新時に自動的にプラグインを無効化することがあります（特に Cocoon 環境で報告あり）。更新後は「プラグイン」一覧で Portal Manager Lite が「有効」になっていることを確認してください。

Q5. 検索結果が表示されません

以下の点を確認してください。

- ① 検索設定で「検索機能を有効にする」にチェックが入っているか
- ② ショートコードの `post_type` が正しいスラッグになっているか
- ③ その `post_type` の投稿が「公開」状態になっているか

Q6. カスタムフィールドが投稿画面に表示されません

「表示設定」でカスタムフィールドを定義して「保存」を押してください。「1 行テキスト」デザインの投稿タイプでは、カスタムフィールドの編集 UI は非表示になります（既存の設定データは保持されます）。

付録 CSS Cascade Layers について

このプラグインは CSS Cascade Layers (@layer) を全面採用しています。これは CSS の優先度を制御する新しい仕組みで、このプラグインでは以下の 3 つのレイヤーを使い分けています。

レイヤー	役割	優先度
pm-reset	基本的なリセット CSS	最も低い
pm-base	プラグインの核心デザイン（カード、レイアウト等）	中間
pm-protect	テーマとの競合を解消する調整 CSS	最も高い（ただし pm-base の !important には負ける）

この仕組みにより、テーマ側の CSS と「詳細度の殴り合い」をせずに、安定したレイアウトを実現しています。「テーマ別調整 CSS」で追加した CSS は pm-protect レイヤーに配置されます。